

わがLOMの
シニアクラブ

松戸JC
[千葉]

卒業してなお熱き、 生涯JayceeのOB会



「じゃがいもゴルフコンペ」開催(鎌ヶ谷カントリー)

松戸 JCOB会は、1972年に設立されました。初代小内有友会長から本年第34代高橋孝夫会長まで34年にわたり現役との太い絆で活動を続けてまいりました。現在会員数310名を擁する伝統あるOB会です。

OB会は現役同様の単年度制を基本とし、会長・直前会長・幹事長・副幹事長、以下卒業年度の浅い年代から各1名ずつ10〜12名程度の幹事を選出し、役員を構成しています。主な年間行事としては、年初に新



サマーナイトウォーク 受付ではOBも協力



サマーナイトウォーク スタート



サマーナイトウォーク まだまだ元気な子どもたち

年総会例会、夏に納涼例会、年末の忘年総会例会の3回の公式行事を開催し、その都度100〜150名の参加を得て和やかに開催されます。また、現役の総会等にはOB会役員の出席が必須となっています。

松戸JCは1968年8月に、千葉JCをスポンサーとして認証番号381号として誕生し、今日まで38年の歴史を刻み、他LOM同様にメンバーの自己研鑽にはじまり、地域との多くの関わり合いを持ちながら活動を続けています。また、日本JC、地区・ブロック協議会との連携も積極的に展開し、第28代井奥貞雄会頭をはじめ多くの役員も輩出してまいりました。

OB会は現在でも現役の活動に物心両面にわたり、多くの支援をしています。多くのLOMにもありますように、年一回現役との交流「じゃ

がいもゴルフコンペ」の開催は、お互いの顔の見える大切な交流の場として回を重ねています。

近年では1994年に松戸市と取り交わした「まちづくり協同宣言」を念頭に置き、生涯Jayceeとして様々な立場で活躍をしています。現役の活動として1998年から開催しています「サマーナイトウォーク」では、LOM事業から実行委員会に移行した現在でも多くのOBが委員会に関わり、大切な青少年育成の一助になっています。

JC経験者は、この他にもそれぞれが多くの場で、地域の指導者的な立場を担っており、生涯Jayceeの熱き想いは、松戸市発展の重要な存在として活躍しています。

松戸JCOB

日本JCシニア・クラブ

関東地区担当世話人 松村義彦